

もりやたかし5つの約束

■笑顔で暮らせる社会

国民の暮らし、働く者の暮らしを置き去りに、大企業優先の政策では、暮らしは良くなりません。働く人たちの約4割の方々が、非正規労働者と言われています。まさに、不安定雇用・低賃金な状態なのです。これでは、将来に希望が持てません。お年寄りが安心し、若者が元気に、女性がいきいきと働き暮らせる、安心・安全社会を、「もりやたかし」は、実現します。

■女性がいきいきと活躍できるしくみ

子育て・介護は、社会全体で支え合わなければ、女性の仕事と家庭の調和はとれせん。家庭を優先すれば、仕事を辞めなくてはならない。仕事を優先すれば、家庭が成り立たない。これでは、女性がいままでたっても、活躍することはできません。子育て支援・介護支援の充実した制度が求められています。

■すべての基本は平和

政治家自らが襟を正し、守らなくてはならない憲法を、都合のいいように変えるとは、言語道断です。政治家や権力を縛るものが憲法です。その憲法を、参議院選挙で、改正をしようとしています。

安倍政権は、安保関連法を数の力で強行採決し、成立させ施行しました。自衛隊を軍隊に変える安保関連法です。戦争のできる国に突き進んでいます。そして、平和憲法を変えらなければ、日本の将来はどうなるのでしょうか。二度と戦争をしないと、誓った平和憲法があったからこそ、今日平和な日本があるのです。もりやたかしは、テロも戦争も反対です。平和で笑顔があふれる安心社会を実現します。

■人間らしく生きられる人生

大企業優先・株価と為替に特化した金融政策では、働く者の暮らしが良くなるわけがありません。社会保障や子育て教育に重点を置いた政策が求められます。

国の借金が将来までに先送りされることは許すことは出来ません。将来に不安があるからこそ経済は循環しないのです。お年寄りが、若者が、女性が、男性が、いきいきとして暮らせる安心・安全社会を実現します。

なぜ、政治家が裕福で国民が苦しい生活をしているのでしょうか。それが、政治不信につながり、政治に無関心な者が増えているのです。

現在、6人に1人の子供が貧困と言われています。その貧困は、働いても、働いても抜けだすことは出来ません。だからこそ、今、子育て支援・福祉政策、社会保障が重要なのです。

■人と暮らしをつなぐ交通運輸

現在日本は、大きな岐路に直面しています。それは、人口減少・少子高齢化社会に突入しているという事です。求められているのは、暮らしやすい便利な町づくりです。病院や学校、買い物など、便利に移動ができる町にしなければなりません。そのためには、公共交通を充実させ、お年寄りからお子さんまで、安心して暮らしやすい、社会の仕組みを実現しなければなりません。

特に地方では、都市部へ人口が流出し、少子高齢化が進んでいます。少子化によって人口は減少し、電車やバスは儲からず路線廃止。その結果、不便な生活が生まれ、都市部へ人口流失するという「負のスパイラル」が生まれています。地方創世・地方の活性化をうたうのなら、国の政策で移動手段の確保が求められます。

今は元気で車を運転できるが、老後は、電車やバスに乗ろうと思っても、その頃には人口減少によって路線が無くなっているかもしれません。今、交通運輸政策に着手しなくては、移動手段がなくなり、通勤、通学、子育て、医療、介護に支障をきたします。人が生きていく上で大切なモノが失われます。電車やバス、タクシーといった公共交通は、あって当然な空気のようなものですが、なくてはならないものです。国民を守るためにも、公共交通を守らなければなりません。

